

安全データシート

改訂日：2022年6月14日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	流動パラフィン
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社)
	(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
	(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	IB0370
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	分類の基準に該当しない。
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	—
危険有害性情報	—
注意書き	—
GHS分類区分に該当しない他の危険有害性	引火点以上に加熱すると引火燃焼する危険がある。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	流動パラフィン
化学式	CmHn
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:8012-95-1
成分及び含有量	常温での液状の炭化水素(炭素が15-20程度)の混合物
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(9)-1692
4. 応急措置	
吸入した場合	直ちに新鮮な空気の所に移し、体を保温し医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。
眼に入った場合	速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当てを受けること。口をすすぐ。吐かせない。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	大量の水、二酸化炭素、泡沫消火剤、粉末消火剤
	周辺火災に適した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
	安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	呼吸用保護具、眼用保護具、手の保護具及び身体用保護具を着用する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	吸収材(珪藻土、パーミキュライト、砂)で吸収し、規則に従って廃棄する。
二次災害の防止策	該当情報なし。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
接触回避	適切な保護具を着用する。
	目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。
保管	強酸化剤
技術的対策	その他有害な化学反応を起こす可能性のある物質
安全な保管条件	
容器包装材料	該当情報なし。
	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し密閉する。
	火気厳禁。
	ガラス又は金属容器を使用する。
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	3mg/m ³ (鉱油ミストとして)
ACGIH	TWA 5mg/m ³ (鉱油ミストとして)

設備対策		取り扱い場所には局所廃棄装置を設置する。使用後は容器を密封する。 静電気対策を講じる。 石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。その為、換気及び下記への注意が必要である。火気厳禁。
保護具		
呼吸器の保護具		適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具		適切な保護手袋を着用すること。
目の保護具		適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具		適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		油状の無色透明液体
臭い		無臭
融点/凝固点		-10℃以下
沸点又は初留点及び沸点範囲		300℃以上
燃焼性		該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		該当情報なし。
引火点		220℃以上
自然発火温度		該当情報なし。
分解温度		該当情報なし。
pH		該当情報なし。
動粘性率(粘度)		38.1cSt(37.8℃以上)
溶解度		水にわずかに溶ける。
n-オクタノール/水分分配係数		水に不溶、エタノールに難溶、エーテル、クロロホルム、石油ベンゼン、二硫化炭素等に可溶。
蒸気圧		0.1Pa以下(室温)
密度及び/又は相対密度		0.855以上
相対ガス密度		該当情報なし。
蒸発速度		該当情報なし。
10. 安定性及び反応性		
反応性、化学的安定性		通常の保管条件下で安定である。
危険有害反応可能性		加熱分解により、刺激性のヒュームを放出する。
避けるべき条件		加熱、火源、混触危険物質との接触
混触危険物質		強酸化剤
危険有害な分解生成物		一酸化炭素、二酸化炭素
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 : 経皮 : 吸入 :	LD50(ラット)=5000g/kg データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		皮膚や目を刺激するという報告があるが、データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		皮膚や目を刺激するという報告があるが、データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器 : 皮膚 :	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		高度精製油はACGIHでグループA4Iに該当する。(発がん物質として分類できない)
生殖毒性		雌雄のラットに4350mg/kg bw/day 5日/週、13週間投与したが、生殖能力の低下は認められなかった。(区分外)
特定標的臓器毒性(単回暴露)		該当情報なし。
特定標的臓器毒性(反復暴露)		該当情報なし。
誤えん有害性		該当情報なし。
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期 : (急性) 長期 : (慢性)	ブルーギル(96h)LC50>10g/L 該当情報なし。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壌中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(分類できない)
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		

国際規制	—
陸上輸送	—
海上輸送	—
航空輸送	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物〔鉱油〕〔施行令別表9〕
	危険性又は有害性を調査すべき物〔鉱油〕
	危険物第4類第4石油類非水溶性液体(第2条第7項危険物別表第1)
消防法	許容濃度:5mg/L
油分排出規制	許容濃度:5mg/L
鉱油類排出規制	
16. その他の情報	
参考文献	NITE-CHIRP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) 職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。